

令和4年度 赤穂市学校評価

外部評価報告書

学校園名 赤穂市立 赤穂東中学校
総合的な学校関係者評価

1 本年度の学校経営方針

【学校教育目標】 「高い志を持ち、学ぶ意欲と思いやりの心が充ちる生徒の育成」
～『志』高く、行動力と、やさしさのあふれる学校をめざして～

【学校教育目標の具現化への基本方針】

- (1) 「心」あるあいさつと思いやりの心の充ちる生徒の育成に努める。
- (2) 「個」をつなぎ、「考」を紡ぎあう『学び』から、さらなる高みを求める態度を養う。
- (3) よりよい生き方を目指し、『夢』と『志』を持つ豊かな人間性を培う。
- (4) 「東中の『誇り』」を胸に、地域とともに魅力ある教育環境づくり・人づくりに努める。

2 本年度の学校重点目標

- (1) 確かな学力を育み、わかる授業づくりを推進する。
- (2) 人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する。
- (3) すこやかな体を培う。
- (4) 「気づき・考え・行動する」主体的な生徒を育成する。
- (5) 特別支援教育の充実を図る。

3 学校教育の基盤

- (1) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める。

・学校での子ども様子の様子を見聞きしたり問題行動等の話を聞くと、最近の子ども達に幼さを感じる事が多くある。今後、一人の大人として立派に成長し、社会の役に立てる人間になれるよう導いてもらいたい。

・学年担当の先生は生徒を良く見ているなあと感じました。3年生の先生は送り出すためにと熱い想いが伝わりました。「志」高く行動力とやさしさのあふれる学校をめざして、とても良い目標だと思います。

・学校日より「若木」は校内の様子が理解でき地域との結びつきが深まると思います。発刊については大変な労力を費やすと思いますが続けていただきたいです。いつも思うことですが下校時に生徒と会う機会があるとき、大半の生徒の挨拶ができています。挨拶は基本ですので今後も引き続き重点目標としていただきたいです。 感染対策を考慮しながらの文化祭、体育祭の開催は感動しました。特に体育祭については生徒の自主性が感じられ引き続き発展していただきたいです。

・登下校中の生徒があいさつをしてもらえることが増えていると感じます。学校での声かけ、指導のあらわれと思います。様々な思いを持つ生徒保護者が東中でよかった、赤穂がよいところと思えるように良好な人間関係を築き卒業をむかえてもらいたいです。

・本年度、学校運営に関わらせていただき、先生方の取り組み、指導など直接聞くことができ、本当に東中をよくしていこうという想いが伝わりました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

・本年度の重厚なる教育目標、方針を掲げ一人一人の生徒に視点を置き「心」「行動」「学び」「身体作り」の育成に努め、学校教育の基本を重んじての学校運営が随所に見られた。コロナ禍でのこのような学校運営に心から敬意を表します。生徒は皆活発に楽しく学校生活を送っているように思えます。何事も主体的に考え行動できるような人に成長できるように指導してあげてください。

・まだコロナ禍と言うこともあり、授業や行事にしてもすごく慎重に取り組んでいると思います。評価については少し甘く感じる所もありますが総合的には厳しめについていると思います。

4 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観点(重点目標)	評価項目(学校・教師の取組) 評価指標 および 目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策	
1. 人間として当たり前のことができる集団を育て、人としての心を育てる。	項目 指標	挨拶・服装をはじめ、基本的な生活習慣を確立させることができたか。 誰にでも気持ちのよい挨拶ができ、服装の乱れのない生活ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○笑顔でさわやかな挨拶ができるよう、生徒会を中心に取り組んでいきたい。 ○服装、時間を守ることなどの基本的な生活習慣の確立にあたっては、全職員の共通理解のもと、家庭との連絡を密にしながら、学校生活のあらゆる場面で、個々の生徒に応じた指導や対応を行う。 ○日々の学校生活で行う日番、清掃、給食当番がみんなの笑顔のために行う活動であり、ボランティア活動もクラスの仲間の笑顔のために行うことであることを理解させ実践させたい。 ○生徒1人1人が、「自分のために指導してくれている」と感じられるような言葉がけができるよう教師の研修をさらに積み上げていきたい。
	項目 指標	清掃指導やボランティア活動への参加を促す等、生徒の奉仕の心を育てたか。 熱心に清掃に取り組んだ。また、生徒会や校内のボランティア活動に積極的に参加した。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	生徒の人権を大切にしたい教育を行い、生徒との信頼関係を築くことができたか。 先生は生徒のことをよく理解しており、頼りになる存在である。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	学校行事・生徒会行事等への参加を促し、より自主的・実践的な態度の育成ができたか。 学校や地域の行事に積極的に参加し、交流を深めた。	生徒アンケート 教師自己評価		
2. 夢と希望を持ち、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目 指標	わかる授業を創造し、生徒たちの自己実現を図り、学習意欲を高めたか。 授業はわかりやすく学習内容は理解できている。生徒はもっと勉強したいと意欲的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○生徒用タブレットの効果的な活用方法を模索している。便利に伴うリスクも把握した上での取組の必要がある。 ○家庭学習を定着させるために、毎日の課題や、週末の課題を出し、丁寧に点検指導することで意欲の向上を図りたい。さらに、家庭の協力を得て時間の使い方を考えさせていきたい。 ○基礎学力の定着や向上を図るため、朝の学習タイムの活用が効果的である。今後は終わりの会後の学習時間の効果的な活用を進めたい。 ○デジタル教科書や生徒用タブレットを活用しながら個々の習熟度に応じた課題の与え方を工夫し、有効な少人数授業の研究を推進する。 ○支援を必要とする生徒に、多くの教師が関わられるよう個別の指導計画、支援計画を活用する。
	項目 指標	家庭との連携を図り、家庭学習の習慣が確立したか。 自主的な家庭学習ができ、宿題等も期日を守って提出できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	授業時数を十分確保できたか。 じっくりと時間をかけた丁寧な指導で、授業がよく分かる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	少人数授業など個に応じた指導が十分にできたか。 自分の到達度に応じた指導を受け、学習内容がよく理解できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	特別な支援を要する生徒に対して適切な指導が行われたか。 教師は個別の支援計画を作成し、一人ひとりに応じた指導ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	主体的・対話的・深い学びを目指した授業の創造ができたか。 生徒たちに学びはあったか。	教師自己評価		

学校関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・挨拶は学校と家庭が連携し行う。 ・挨拶の継続。生徒の見守。 ・マスク生活が続く笑顔がわかりにくいと思われそうですが相手にイヤな思いをさせない。挨拶や清潔感のある服装は基本であることの指導を徹底し続けて欲しい。 ・生徒会及び学校の方針での「遵守事項」の①あいさつの励行②服装の乱れのチェック③周辺の清掃片付け等々は教育現場の環境づくりの上で大切な条件である。指導側の職員教師と生徒共々に根気ある積み重ねの活動に努めていただきたい。 ・あたりまえのことがごく自然にできる様に生徒同士で刺激し合えるように指導して頂きたい。
◎	◎	・タブレットは便利だが文字入力も大事。 ・SNSを使うことで自己責任を理解してもらおう。 ・習熟に応じた授業や課題で、理解できたという自信につなげて下さい。 ・近年、教育学習法としてタブレット及びデジタル教科書等の活用があたりまえの時代になっている。そのため、生徒個々の習熟度とイデオロギーの発生等の危惧が発生していないかとの思いもある。個人差もあり、生徒の習熟をチェックしながらの活用を進めて頂きたい。 ・学ぶことが楽しくなるような「わかる」「できる」と生徒が自信を持てるような授業を展開して欲しい。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)	評価資料	達成 状況	改善の方策
3. 楽しく 安心でき 充実した 生活を送 れる学校 づくりを 進める。	項目 指標 教育相談週間(面談)や生活ノートの活用により生徒 理解を深めたか。 先生は生徒のことをよく理解し、困ったときに相談 できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○いじめを生まない学級経営を全教師が実践でき るよう研修する。生徒理解を深め、いじめにつ ながる事案の早期発見、早期対応をチームとし て行えるようにしたい。 ○普段の生徒の言動に関して、教師が高い人権感 覚をもって向き合う事が大切である。教師自身 の人権意識を更に高めていきたい。 ○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなく スクールカウンセラーやスクールソーシャルワ ーカーと連携しながら進める。保護者へのカウ ンセリングを継続して実施していきたい。ケー ス会議等を持ち、情報を共有し取り組み方を検 証しながら進めていきたい。
	項目 指標 楽しく安心できる学校づくりに努めたか。 学校に愛着を持ち、毎日登校することが楽しい。	生徒アンケート 保護者アンケート		
	項目 指標 学級経営等の工夫により、生徒は充実した学校(学 級)生活を送っているか。 学級活動等で活躍することができ、学校での生活が 充実している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 部活を通して生徒との良好な人間関係を築いたか。 先生の指導は熱心で、生徒は部活動に積極的に参加 し、楽しく活動している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 不登校生徒への指導や支援は十分であったか。 不登校生徒が、自分のペースで学びを続けることが できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
4. 東中を 学びの場 としてふ さわしい 環境にす る。	項目 指標 教室や廊下には生徒の作品やポスター類がきれいに 掲示されるなど、環境が整備されているか。 教室や廊下には掲示物が整然と貼られ、環境が整っ ている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○感染症拡大防止のため活動が制限されてきたな かで、その状況でできる行事を考え工夫して実 施した。今後、行事の精選を更に検討したい。 ○整った環境が学びを向上させるとの共通理解の もと、環境整備を実践した。効果が生徒の活動 に戻るよう実践したい。 ○人権意識の向上のため、生徒の心に響く授業を 行う必要がある。今後も継続的に意識調査を実 施し、生徒の実態に合わせた指導を心がける。
	項目 指標 掃除がすみずみまで行き届くなど、校舎内外の環境 美化に努めているか。 校舎内外ともに隅々まで清掃が行き届いている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 教職員の言葉遣いは人権に配慮された適切なものにな っているか。 生徒や保護者に対して人権に配慮した適切な言葉遣 いができている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 生徒会活動は活発で、自治的・主体的・自律的な活 動が行われているか。 生徒会の委員会活動等は活発で、生徒は自主的に活 動できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
5. 地域に 信頼され る学校づ くりを進 める。	項目 指標 学校だよりやHPなどで学校の情報を家庭や地域に 発信したか。 保護者や地域住民は、学校の状況をよく理解している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○困難な状況の中でも頑張っている生徒の様子や 保護者の声が地域の方に届けられるように学校 だよりやホームページを更新し、学校からの情 報を発信する。 ○学校が地域の声を聞く場を模索し、地域との つながりを保てるよう努力する。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になる ために一層の職務への専念、服務規律の確立に 努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生 児童委員など、青少年の育成に関与しておられ る方々の協力が引き続き得られるような教育活 動を展開する。 ○日々の校内巡視や、月2回の安全点検、交通立 番指導等の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議して いただき、外部の方から支援していただけるよ う取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導(教師の補助的 作業)等にも地域の方のご協力が得られるよう な方策を検討する。
	項目 指標 オープンスクール等を推進し、保護者や地域の人た ちの生徒理解・学校理解を進めたか。 保護者や地域住民は学校行事等に積極的に参加し、 また、教育活動に協力的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 地域行事への参加・協力を通して、学校と地域の連 携を図ったか。 地域行事に積極的に参加する。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 PTA活動への協力など、PTAと効果的な連携を 図ったか。 PTAの協力を得て、教育活動が活性化した。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 学校評価を適切に行い、次年度への学校教育の指針 を作成したか。 アンケート等で保護者や地域住民の声をくみ取り、 次年度の学校経営方針等を策定した。(教師)	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 育成推進委員会などと連携を図り、生徒たちの健全 育成を推進したか。 地域諸団体の協力を得て、健全育成を推進した。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 安全で安心な学校づくりに取り組んだか。 定期的な安全点検、校内の巡回等、生徒の安全確保 に取り組んだ。(教師)	保護者アンケート 教師自己評価		

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・不登校の生徒が多いように感じます。それぞれ 問題を抱えているとは思いますが、一人でも多く の生徒が学校に来られるようになるよう目張り強 く向き合っていたきたい。 ・中学校での部活は今後の成長に大きく影響しま す。良き指導者を。不登校は地道に少しずつ。 ・一人で抱え込まない ・教科以外の指導は大変なことと想像できますが、 安心安全な学校で楽しく登校できるよう先生方も チーム東中として対応して下さい。 ・不登校生徒が赤穂市で一番多いと聞きました。 先生方の時間が限られているなかで、アプロー チをされていると負担が心配です。 ・「いじめを生まない」対応の基本は、教師の生 徒に対する「人権尊重」と「思いやり」と共に教 師のいじめの気付きの「早期発見」と対応が大事 なことだ。注意深く、根気よく見守って頂きたい。 ・対人関係において、弱い立場に置かれるような 生徒、何か悩んでいるような生徒を積極的に、 やさしく支えてあげて下さい。 生徒アンケート 18、19 ではC、Dに集計が集まっ ているように思われます。楽しく安心できるの項 目に少し差があるように思います。
◎	◎	・中学校での生徒会長も兵庫県でも多く女子が就 任されて実績を上げています。期待しています。 ・掲示物はきちんと貼られていて環境が整って いて気持ちよく学校生活が過ごせていると思 います。これからも継続されることを望みます。 ・コロナ禍のなかで学校行事・運営等々困難な状 況のもと創意工夫をもたらした活動・実践が見 受けられた。今後とも感染対策等に注意しなが ら継続した活動を願いたい。 ・主役は自分達自身であるということを理解し、 自ら環境を造っていけるように指導して下さい。
◎	◎	・学校運営協議会が設置されて3年になりますが、 コロナ禍のため、本来のコミュニティースク ール意味合いが「ぼやけているような気がする。 今後、コロナが開けてからどう地域の方々と交 流していくかが課題。 ・学校だよりは読みやすいですが写真が暗い です。 ・地域へのお知らせはとても良いことだと思 います。 ・HPを見ることはないで回覧される学校だ よりは楽しみにしています。保護者へのメール 内容がどのようなものかわかりませんが、紙 のプリントを配られたことをメールで知らせ ると「プリントを見せて」と声かけにつな がりますね。 ・難しい年頃ですが、家庭での親子の会 話なども必要だと思います。 ・自治会等へ毎月配信の「学校だより」「 HP」等の配信は学校行事の伝達、情報 としても大いに効果は大ある。ただ、本 年度もコロナ禍での学校運営であつたた め各自治会や学校運営協力機関連携・支 援等も十分なことができなかつた。次 年度は状況も良くなっていると思うので、 できる限り協力支援の方も充実させて 頂きたい。 ・地域や保護者の協力が得やすいよう にわかりやすい情報をたくさん発信して 下さい。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	項目	評価指標 および 目標値 (期待される姿)			
6. 人間的なふれあいに基づく生徒指導を進める。	項目	全教育活動を通して、いじめ・暴力のない人間(生徒)関係づくり、学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○学級経営、生徒指導について教師自身が力量を高めようとする姿勢が求められる。生徒が生き生きと活動するためにどのように学級づくりを進めるのかチームとして取り組む必要がある。 ○道徳の指導力を向上させ、教師自身が人間性を磨く姿勢を持ち続けていきたい。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につけにくい生徒もいる。保護者がどのように関わればいいのかも含めた、地域の関係団体や関係機関との協力を進める。 ○生徒と教師、生徒同士の適切な関係づくりや、家庭と教師との連携に向け、教職員の資質向上研修を推進する。
	指標	学級(学校)は、安心して勉強や生活ができる場である。			
	項目	道徳教育をはじめ全教育活動を通して、他者への思いやりやマナー、命の大切さを学ばせたか。			
	指標	命の大切さが分かり、人の気持ちを大切に思いやる事ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	問題行動が発生した時には組織的に対応し、早期の解決を図るとともに、未然防止に努めた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	教職員は問題行動に対して適切な指導をし、問題行動が減少した。			

◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・最近社会問題になっている「あおり運転」や飲食店での迷惑行為等も全ては道徳につながると思います。中学世代でしっかりとした道徳、マナーモラル等の教育をお願いしたい。 ・いじめは判別しにくいですが先生が気安く話しかける環境が必要と思われます。 ・教師が個で抱え込まないようにチームでの取組は絶対です。地域の関係団体との協力にどんどん取り組んで下さい。 ・道徳教育って難しいですね。 ・学級経営、学級づくりで大切なことは教師と生徒間での信頼関係がどうかで決まる。お互い特に教師の以心伝心力を高め生徒に対しても個々の人格を尊重した上で接し関係性を保ちながら共に資質を高めていって頂きたい。 ・思春期における心の不安定な生徒を良く理解し、集団生活において大切なことが学べるように指導して下さい。
---	---	---

自己評価における特記事項

- 様々な指導場面において、学校としてどのように対応するか、共通理解して進めることの重要性を改めて感じた。
- 感染症拡大防止対策等により、様々な活動に制限がある中で、どうしたらできるのか工夫して取り組むことができた。

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

- 様々な活動が、コロナ禍前に戻ろうとしうる見通しができてきた。元通りに戻す前に、精選を行い、必要なものを変えていくチャンスとして、来年度は取り組んでいきたい。
- 授業研究、校内研修等充実し、授業を通じた教師の資質向上を更に効果的に進めたい。
- 不登校対策を見直し、個に応じた学習機会の提供の方法を検討したい。